

第 276 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 8 年 4 月 14 日 (火) 開催 会場: Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社IDDK 代表者 上野 宗一郎 氏

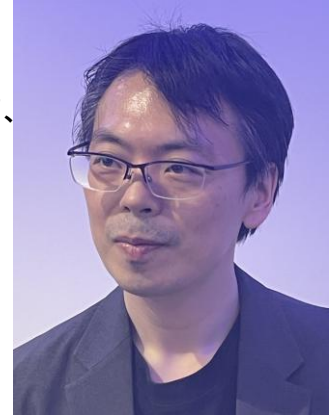
【住所】東京都江東区富岡 1-12-8 アサヒビル 309 【設立】2017 年 6 月 【資本金】27,427 千円

【事業概要】光学レンズを使用しない半導体ベース顕微観察技術「MID (Micro Imaging Device)」をコアとして、

① 顕微観察装置および周辺技術の研究・開発・製造・販売、②人工衛星搭載可能な自動バイオ実験ユニットによる「Micro Bio Space LAB (MBS-LAB)」の提供 (微小重力・宇宙放射線環境での実験機会) を推進しています。医療・ライフサイエンス・食品等の分野への展開を進めています。

【コメント】これまで約 400 年続いてきた顕微鏡技術に代わるものとして、同社の技術が注目されています。一般的な顕微鏡はレンズで対象物を拡大して観察しますが、同社の装置は対象よりも圧倒的に小さな素子を使って観察するという、これまでにはない技術を採用しております。

今回、上野社長が『民間主導の宇宙実験プラットフォームを創る』というビジョンについても語られていたのが印象的でした。現在、宇宙実験は 1 回あたり数千万円以上と非常に高額で、しかも実施回数も年に数回と限られています。しかし同社の技術を活用すればコストは従来の 10 分の 1 以下に抑えられ、より柔軟でスピーディーな実験が可能になるとのことです。昨年に引き続き、今年も政府機関やアカデミア、事業会社との連携を進め、さらに実績を積み重ねていきたいと話されていました。



2. 株式会社アド RoBo 代表者 岩崎 光幸 氏、発表者 取締役 永井 武 氏

【住所】神奈川県相模原市緑区下九沢 530 【設立】2018 年 8 月 【資本金】10,000 千円

【事業概要】ノーバックラッシュ・直交軸出力型歳差運動ボール減速機「アド RoBo 式減速機」関連事業 - COBOT (人と協働するロボット)・ヒューマノイドロボット市場 (4.4 兆円・23 兆円) を見据え、多関節ロボットの関節部分に最適なキラー技術となるアド RoBo 式減速機を搭載した次世代多関節ロボを創出する事業。

➢次世代多関節ロボとは、ストレート&スマートな多関節を有し、且つ超高精度位置決めをシンプルな構造で実現する次世代ロボットハンド・アーム。

今後の事業展開は、COBOT における下記に示した、①ペインに対して、②ソリューションを提供し、業界のゲームチェンジャーを目指していく。

① COBOT における位置決め動作のターゲットスピードは概ね 10 秒。

➢バックラッシュ制御 (周辺機器・システム制御等) のため追い付かない

➢国内ロボットメーカーでは、6 秒を目指した開発を行っているが、まだ実現していない

②位置決め動作のターゲットスピード 6 秒以内・コストダウンがアド RoBo 式減速機では可能。

【コメント】既存の減速機は歯車構造なのでどうしてもバックラッシュ (ガタ) が起きやすく、正確な位置決めが難しいという課題があります。そのため一般的には、事前にエンコーダーで読み取りやプログラムによる予測制御を行い、位置ずれを補正する方法が採られています。

これに対し、同社の『アド RoBo 式減速機』は歯車式ではなく、直交軸出力型の構造にすることで、ノーバックラッシュを実現しました。これにより、ヒューマノイドロボット市場で重要視されている、ターゲットスピードへの到達時間を短縮することが出来ました。今後は、今までにはないフィジカル AI 分野でのデータ取得や活用も視野に入れ、更なる事業展開を進めてしていくと話されていました。



3. 株式会社 Visal 代表者 齋藤 皓太 氏

【住所】神奈川県横浜市中区扇 1-1-25-501 【設立】2022 年 10 月 【資本金】3,000 千円

【事業概要】東南アジア進出右腕伴走支援

【対象国】(ASEAN 主要 5 カ国) インドネシア・タイ・フィリピン・マレーシア・ベトナム

【特徴】一貫して、「海外進出における最も重要な相棒」をお届けしています。海外進出成功および現地事業強化に向けて、「右腕」として伴走支援を実行しております。

いわゆる第三者的なコンサルティングやアドバイザーや机上検討を超え、当事者として弊社が現地最前線で開拓・実行を担っているスタイルは日本で唯一無二です。

【実績】新規進出支援、既存現地拠点課題解決、販路開拓、現地調査、他。

【コメント】東南アジア市場にポテンシャルを感じて、本格的な進出を検討する企業は年々増えております。しかし従来のコンサルティング会社による後方支援だけでは、なかなか現地で事業を成功させるというのは難しいようです。

齋藤社長は、インドネシア全 34 州都全てで事業展開を行ってきた実績を持つ、非常に稀有なご経験をお持ちです。そのご経験から、『現地を熟知する日本人が先導し、最小リスクで確実な成功へ導く伴走支援』の必要性を感じ、同社を設立されました。同社の特徴は従来のコンサルティングにとどまらず、実行のフェーズまで踏み込み、バイタリティー・スピード・対話力・人脈といった強みを活かして、より実践的で力強い支援を提供されています。今回、様々な連携スタイルについてご提案を頂き、今後の展開が非常に期待されます。



【感想】今回の発表会は開催直前までお申し込みが続き、皆様の関心の高さを強く感じる会となりました。交流会においても活発な情報交換が行われ、大変有意義な時間となりました。

どの発表企業もそれぞれの分野でイノベーションを起こし、新たなマーケットの創出に取り組まれており、今後の展開がますます楽しみです。

数カ月前まで発表企業の予定が埋まっておりますが、ご登壇をご希望の方がいらっしゃいましたら、是非、事務局までお問い合わせいただけますと幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

第 277 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■日 時: 令和 8 年 5 月 12 日 (火) 13:30~15:00

■会 場: Tech Hub Yokohama

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
(株)TNP パートナース、(株)TNP スレッズオブライト
井 汲 美 樹